

消防署見学のとびき



令和7年度防火ポスター展 安房郡市広域市町村圏事務組合消防長賞
館山市立館野小学校 4年 鈴木 虹葉 さんの作品

安房郡市消防本部
館山消防署
鴨川消防署

目 次

消防の仕事	1
火災を早く消すためのしくみ	1 ～ 2
全国統一防火標語	3
1 消防本部・消防署	
(1) 本部・署・配置図及び消防自動車等一覧表	4
(2) 消防車両の名称一覧表	5
(3) 安房郡市内消防組織図	6
(4) 消防本部・消防署の所在地と開設年月日	7
2 火 災	
令和7年火災概要	8
(1) 火災発生状況(前年比較)	9
(2) 市町別火災発生状況	10
(3) 月別火災発生状況	11
(4) 月別火災発生件数(グラフ)	12
(5) 火災種別件数の推移(過去5年間)(グラフ)	12
(6) 過去5年間の火災発生状況	13
(7) 出火原因別件数(グラフ)	14
(8) 建物火災の出火原因別件数(グラフ)	14
(9) 主な出火原因の推移(過去5年間)(グラフ)	14
(10) 時間別火災発生件数・損害額(グラフ)	15
(11) 曜日別火災発生件数(グラフ)	15
(12) 気象別火災発生件数(グラフ)	16
(13) 覚知方法別火災発生件数(グラフ)	17
(14) 初期消火器具使用状況(グラフ)	17
(15) 主な火災	17
(16) 火災発生状況の推移(過去25年間)(グラフ)	18
3 救 急	
令和7年救急概要	19
(1) 市町別救急出動件数及び搬送人員数(グラフ)	20
(2) 月別救急出動件数(グラフ)	21
(3) 年代別事故種別搬送人員数(グラフ)	22
(4) 時間帯別救急出動件数(グラフ)	23
(5) 曜日別救急出動件数(グラフ)	24
(6) 過去10年間の救急出動件数(グラフ)	25
(7) 過去10年間の搬送人員数(グラフ)	25
(8) 市町別事故種別ドクターヘリ要請件数及び搬送人員数(グラフ)	26
4 救 助	
(1) 市町別救助活動状況	27
(2) 過去5年間の救助活動状況(グラフ)	28
早い通報・少ない損害	29
火事から避難するときはどうする? こわい こわい けむりの話	30
安房郡市消防本部からお知らせ!	

※本編内の割合・比率については、四捨五入による端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

消 防 の 仕 事

24時間仕事をする消防士たちは、午前8時30分の交替で1日が始まります。

緊急時に備え車両の点検、整備が毎日行われ、スーパーマーケット、病院、ホテル・旅館など人が多く出入りする場所や密集している住宅地を調査します。

また、消火栓や防火水槽の位置を覚え、もし火災が発生したら、どのように消火活動したら少ない被害ですむかを研究しています。

人命尊重の立場から、市民の生命や財産を守る消防は、一刻を争う災害現場で適切な活動と正しい判断力が要求されますので厳しい各種救助救急訓練を積みかさねて自信をつけ、チームワークにより、いかなる災害でも確実に対処できる技術を身につけています。

また、町内会、各事業所等に出向し、防災に関する相談を受け、指導をしています。

夜間は、交替で起きて24時間の中でいつでも市民の要求に応える体制をとっています。

消防団は各市や町に設置されており、消防団員は、普段自分の家や会社・工場等で仕事をして、一旦火災やその他の災害が発生すると、各分団詰所に配置されている消防車などで出動し、消防活動にあたります。

《火災を早く消すためのしくみ》

1 火災が起きると消防本部からすぐいろいろなところへ連絡をします。

それはどうしてですか？

電力会社 …… 消防車による放水などにより、感電しないように電気を止めるため。

ガス会社 …… ガスに引火して爆発等の被害を避けるため。

市・町の水道課 …… 消火栓の水が充分使えるようにバルブを開けるため。

警 察 署 …… 消火作業が邪魔されないように自動車や人の通行を止めるため。

2 1秒でも早く出動できるように工夫しています。

どんな工夫ですか？

夜は活動服のまま仮眠をとります。

消防車のエンジン等は、毎日手入れをしています。

3 火を消すための施設

市や町では、どこで火災がおきても、すぐ水が使えるように消火栓や防火水槽、プールなどを備え、まだ足りない所には、毎年計画を立ててこれらの地域に施設を造っています。

4 火災を防ぐため、普段から次の活動をしています。

防火宣伝……風の強い日や空気が乾燥しているとき。

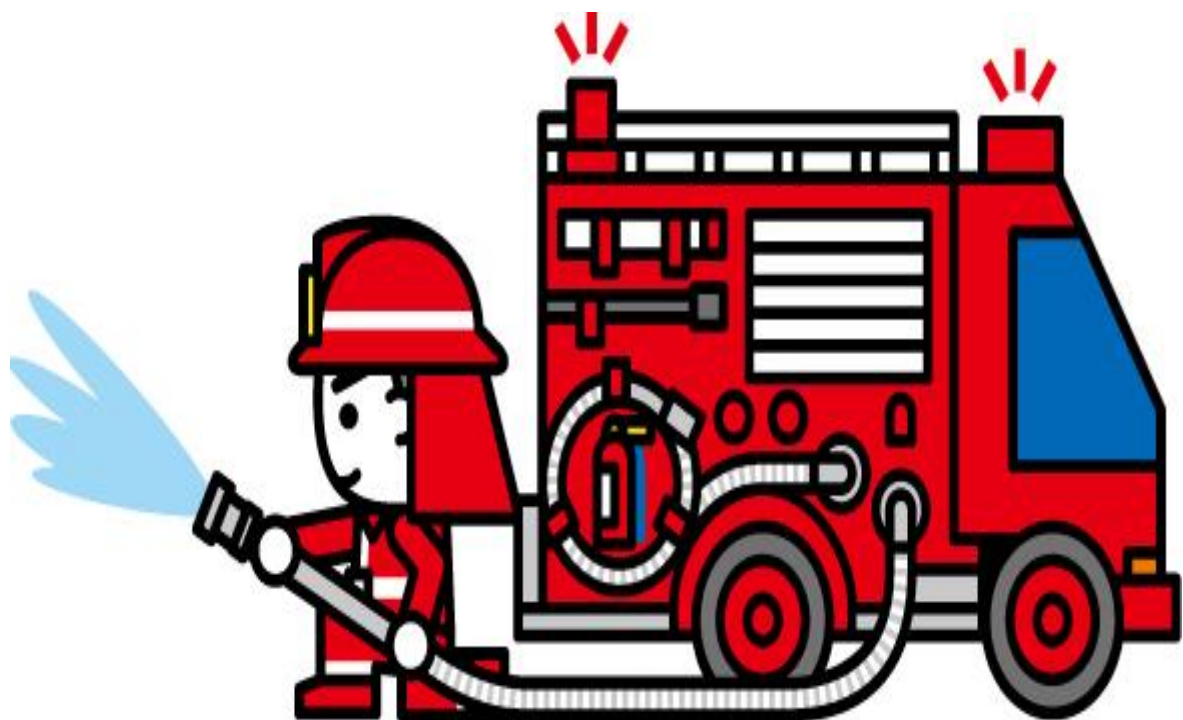
建物の検査や調査……スーパーマーケット、病院、ホテル・旅館などの人が多く出入りする場所や密集した住宅地を調査して、火災が発生した場合にできるだけ被害を少なくするための研究をしています。

防火講演・消防訓練……町内会、学校、旅館などに行き、防火に関する指導や消火器の使い方、避難方法などを指導しています。

5 他にもこんな仕事をしています。

病人やけが人を救急車で少しでも早く病院へ搬送します。

災害時及び津波や風水害の警戒にあたります。



全国統一防火標語

消防庁では、全国に防火意識の啓発を呼びかけることを目的に、一般社団法人日本損害保険協会との共催により、毎年「全国統一防火標語」の募集を行っています。

選ばれた作品は、予防運動ポスターを始めとする各種防火ポスターやパンフレット等により広く防火思想の啓蒙に役立てていきます。参考に過去の標語も記載します。

2026年度全国統一防火標語

『 火の確認 いい日を支える いい習慣 』



- ・1995年度 災害に 備えて日頃の 火の用心
- ・1996年度 便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
- ・1997年度 つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
- ・1998年度 気をつけて はじめはすべて 小さな火
- ・1999年度 あぶないよ ひとりぼっちにした その火
- ・2000年度 火をつけた あなたの責任 最後まで
- ・2001年度 たしかめて。火を消してから 次のこと
- ・2002年度 消す心 置いてください 火のそばに！
- ・2003年度 その油断 火から炎へ 災いへ
- ・2004年度 火は消した？いつも心に きいてみて
- ・2005年度 あなたです 火のあるくらしの 見はり役
- ・2006年度 消さないで あなたの心の 注意の火
- ・2007年度 火は見てる あなたが離れるその時を
- ・2008年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする
- ・2009年度 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
- ・2010年度 「消したかな」あなたを守る 合言葉
- ・2011年度 消したはず 決めつけしないで もう一度
- ・2012年度 消すまでは 出ない行かない 離れない
- ・2013年度 消すまでは 心の警報 ONのまま
- ・2014年度 もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
- ・2015年度 無防備な 心に火災が かくれんぼ
- ・2016年度 消しましょう その火その時 その場所で
- ・2017年度 火の用心 ことばを形に 習慣に
- ・2018年度 忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
- ・2019年度 ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
- ・2020年度 その火事を 防ぐあなたに 金メダル
- ・2021年度 おうち時間 家族で点検 火の始末
- ・2022年度 お出かけは マスク戸締り 火の用心
- ・2023年度 火を消して 不安を消して つなぐ未来
- ・2024年度 守りたい 未来があるから 火の用心
- ・2025年度 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

1 消防本部・消防署

(1) 本部・署・配置図及び消防自動車等一覧表

(令和8年4月1日現在)

区分 配置先		消防職員	消防ポンプ車	水槽付消防ポンプ自動車	梯子付消防ポンプ自動車	救助工作車	化学車	救急車	指揮車	査察車	連絡車	広報車	非常防用車	非救急用車	資搬機送材車	可搬動力	計	
消防本部	消防長	1																
	次長	1																
	総務課	5									3							3
	予防課	13								2		1						3
	警防課 (ちば消防共同指令センター派遣含む)	15									1				1			2
館山消防署管轄	館山消防署	51	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1			3	13
	鋸南分署	18		1				1									1	3
	千倉分署	18		1				1									1	3
	神戸分署	18		1				1									1	3
	白浜分署	18		1				1									1	3
	和田分署	18		1				1									1	3
	富浦分遣所	12		1													1	2
	犬掛分遣所	12		1													1	2
鴨川消防署管轄	鴨川消防署	50	1	1	1	1		1	1		1	1					1	9
	長狭分遣所	12		1													1	2
	天津小湊分遣所	11		1													1	2
合計	273	2	11	2	2	1	7	2	2	5	3	1	1	1		13	53	

※再任用職員 8名除く



(2) 消防車両の名称一覧表

移 動 局 一 覧 (車 両)		
無線呼び出し名称	所 属	車 両 名
あわしえん 1	警 防 課	安房支援1号車(緊急消防援助隊登録車両)
あわこうほう 1	予 防 課	安房広報1号車
たてやましき 1	館 山 消 防 署	館山指揮1号車
たてやまこうほう 1	”	館山広報1号車
たてやますいそう 1	”	館山水槽1号車(緊急消防援助隊登録車両)
たてやまきゅうきゅう 1	”	館山救急1号車
たてやまポンプ 1	”	館山ポンプ1号車
たてやまかがく 1	”	館山化学1号車
たてやますいそう 2	”	館山水槽2号車(非常用消防車)
たてやまきゅうきゅう 2	”	館山救急2号車(非常用救急車)
たてやまきゅうじょ 1	”	館山救助1号車(緊急消防援助隊登録車両)
たてやまはしご 1	”	館山梯子1号車
きよなんすいそう 1	鋸 南 分 署	鋸南水槽1号車
きよなんきゅうきゅう 1	”	鋸南救急1号車(緊急消防援助隊登録車両)
ちくらすいそう 1	千 倉 分 署	千倉水槽1号車
ちくらきゅうきゅう 1	”	千倉救急1号車
かんべすいそう 1	神 戸 分 署	神戸水槽1号車
かんべきゅうきゅう 1	”	神戸救急1号車(緊急消防援助隊登録車両)
しらはますいそう 1	白 浜 分 署	白浜水槽1号車
しらはまきゅうきゅう 1	”	白浜救急1号車
わだすいそう 1	和 田 分 署	和田水槽1号車(緊急消防援助隊登録車両)
わだきゅうきゅう 1	”	和田救急1号車
とみうらすいそう 1	富 浦 分 遣 所	富浦水槽1号車
いぬかけすいそう 1	犬 掛 分 遣 所	犬掛水槽1号車
かもがわしき 1	鴨 川 消 防 署	鴨川指揮1号車
かもがわこうほう 1	”	鴨川広報1号車
かもがわすいそう 1	”	鴨川水槽1号車(緊急消防援助隊登録車両)
かもがわきゅうきゅう 1	”	鴨川救急1号車
かもがわポンプ 1	”	鴨川ポンプ1号車
かもがわきゅうじょ 1	”	鴨川救助1号車
かもがわはしご 1	”	鴨川梯子1号車(緊急消防援助隊登録車両)
あまつすいそう 1	天 津 小 湊 分 遣 所	天津水槽1号車
ながさすいそう 1	長 狭 分 遣 所	長狭水槽1号車

(4) 消防本部・消防署の所在地と開設年月日

安房郡市消防本部	館山市北条686番地1 Tel0470-22-0119 (代) 昭和47年 4月 1日 開設 平成24年 4月 1日 新庁舎移転
館山消防署	館山市北条686番地1 Tel0470-22-2903 昭和47年 4月 1日 開設 平成24年 4月 1日 新庁舎移転
鋸南分署	安房郡鋸南町下佐久間953番地1 Tel0470-55-3250 昭和48年 4月23日 開設
千倉分署	南房総市千倉町牧田446番地 Tel0470-44-2100 昭和48年 5月 1日 開設 令和 3年 7月21日 新庁舎移転
神戸分署	館山市布沼1346番地2 Tel0470-28-2660 令和6年 4月 1日 開設 (西岬分署・神戸分遣所合併統合)
白浜分署	南房総市白浜町白浜2951番地 Tel0470-38-4194 昭和49年 7月15日 開設 平成29年 4月 1日 名称変更 平成30年 2月17日 新庁舎移転
和田分署	南房総市和田町小川711番地2 Tel0470-47-2200 平成29年 3月14日 新庁舎開設 (和田分遣所・丸山分遣所合併統合)
富浦分遣所	南房総市富浦町多田良1191番地 Tel0470-33-3333 昭和51年 5月 8日 開設
犬掛分遣所	南房総市犬掛161番地1 Tel0470-58-3119 平成16年 1月 1日 開設
鴨川消防署	鴨川市横渚1393番地 Tel04-7093-2131 昭和48年 6月 9日 開設
長狭分遣所	鴨川市金束1番地1 Tel04-7098-0256 昭和55年 3月 6日 開設
天津小湊分遣所	鴨川市内浦352番地1 Tel04-7095-3610 昭和49年 9月19日 開設 令和 3年 4月29日 新庁舎移転

2 火災

令和7年の火災概要

1 火災発生件数は160件で前年比54件の増加

令和7年における当消防本部管内の総出火件数は160件で、前年と比べると54件の減少で、およそ2.2日に1件発生したことになります。

火災発生件数を火災種別ごとにみると、建物火災35件(+10件)*、林野火災16件(+11件)*、車両火災5件(+1件)*、船舶火災1件(+1件)*、航空機火災0件(±0件)*、その他の火災103件(+31件)*となっています。

建物火災35件のうち、住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅)の火災は、19件で、約54.2%を占めています。

2 火災による死者は0人で前年比2人の減少、負傷者は21人で前年比8人の増加

火災による死者は0人(-2人)*です。

火災による負傷者は21人(+8人)*で、火災種別は建物火災5人、林野火災1人、車両火災1人、船舶火災1人、その他の火災13人となっています。

3 焼損棟数、罹災世帯数、焼損面積、損害額

焼損棟数は、43棟(+7棟)*、罹災世帯数は、22世帯(+3世帯)*と増加しています。

建物焼損床面積は、1,353平方メートル(-28平方メートル)*で、建物火災1件当たり約39平方メートルを焼損したことになります。

建物焼損表面積は、100平方メートル(+41平方メートル)*と増加しています。

林野の焼損面積は、79アール(+65アール)*と減少しています。

総損害額は、5,972万6千円で、このうち建物火災による損害額は、5,599万3千円^{注)}を占め、建物火災1件当たりおよそ159万9千円の損害となっています。

4 出火原因の第1位は、「たき火」、続いて「放火・放火の疑い」

全火災件数160件を出火原因別に見ると、主な出火原因は、「たき火」91件(56.9%)、「放火・放火の疑い」13件(8.1%)、「火入れ」9件(5.6%)の順になっています。

*カッコ内の±は、前年比を表わしています。

^{注)}建物以外の損害も含みます。

1 火災発生状況(前年比較)

△印……減

区 分	単位	7年(A)	6年(B)	増 減 (A)-(B)=C	増 減 率 $\frac{(C)}{(B)} \times 100$ (%)
出 火 件 数	件	160	106	54	50.9
建 物	"	35	25	10	40.0
林 野	"	16	5	11	220.0
車 両	"	5	4	1	25.0
船 舶	"	1		1	100.0
航 空 機	"				
そ の 他	"	103	72	31	43.1
焼 損 棟 数	棟	43	36	7	19.4
全 焼	"	10	13	△ 3	△ 23.1
半 焼	"	4	2	2	100.0
部 分 焼	"	13	9	4	44.4
ぼ や	"	16	12	4	33.3
建 物 焼 損 床 面 積	m ²	1,353	1,325	28	2.1
建 物 焼 損 表 面 積	"	100	59	41	69.5
林 野 焼 損 面 積	a	79	14	65	464.3
死 者	人		2	△ 2	△ 100.0
負 傷 者	"	21	13	8	61.5
罹 災 世 帯	世帯	22	19	3	15.8
全 損	"	4	6	△ 2	△ 33.3
半 損	"	3	2	1	50.0
小 損	"	15	11	4	36.4
罹 災 人 員	人	49	38	11	28.9
損 害 額	千円	59,726	59,966	△ 240	△ 0.4
建 物	"	55,993	58,246	△ 2,253	△ 3.9
林 野	"	187	5	182	3640.0
車 両	"	332	1,062	△ 730	△ 68.7
船 舶	"				
航 空 機	"				
そ の 他	"	3,214	653	2561	392.2
爆 発	"				
出 火 率	%	14.4	9.4	5.0	53.2

2 市町別火災状況

(令和7年)

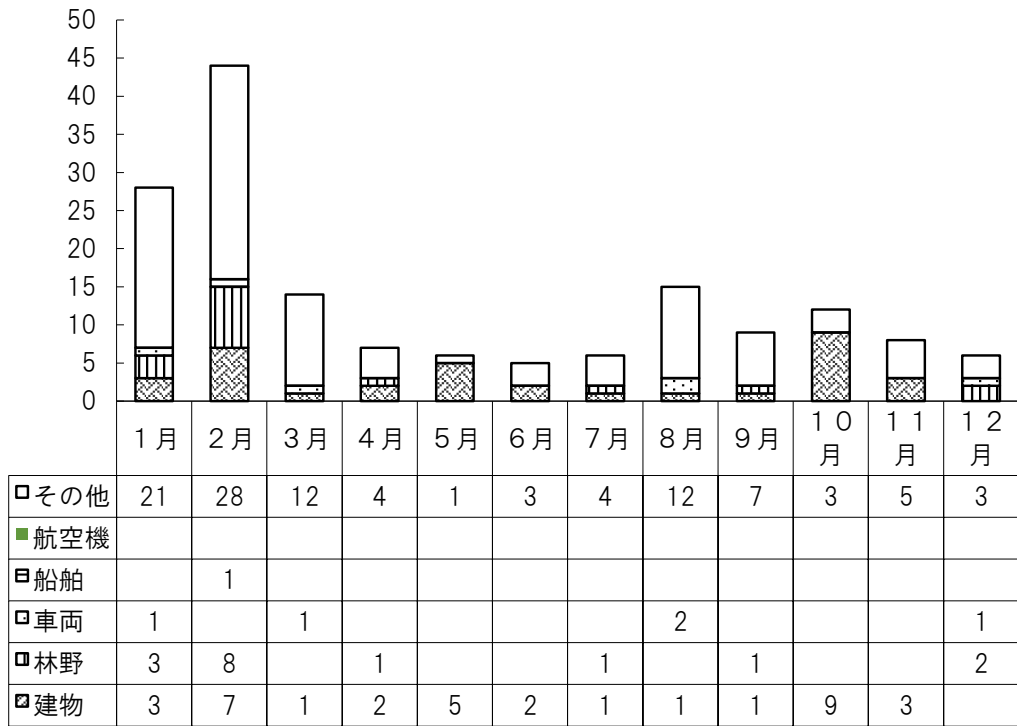
行：市町別 列：区分	出火件数							焼損棟数					焼損面積		死傷者数		り災世帯			り災者数	損害見積額 (単位：千円)										
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 m ²	林野 a	死者	傷者	全損	半損	小損		合計	建物			林野	車両	船舶	航空機	その他		
																						小計	建物	収容物							
館山市	39	11	3	3	1		21	13	4	1	3	5	513	20	4		4	4	1	5	24	31,693	31,155	28,322	2,833	88	229				221
鴨川市	53	12	7	1			33	13	2	1	4	6	378	42	11		0	0	4	8	14,208	11,727	10,469	1,258	51	3				2,427	
南房総市	56	8	6	1			41	10	2	1	3	4	375	17	6			1	3	7	8,710	8,009	7,427	582	48	100				553	
鋸南町	12	4					8	7	2	1	3	1	187					1	3	10	5,115	5,102	4,474	628						13	
合計	160	35	16	5	1		103	43	10	4	13	16	1,453	79	21		4	3	15	49	59,726	55,993	50,692	5,301	187	332				3,214	

3 月別火災発生状況

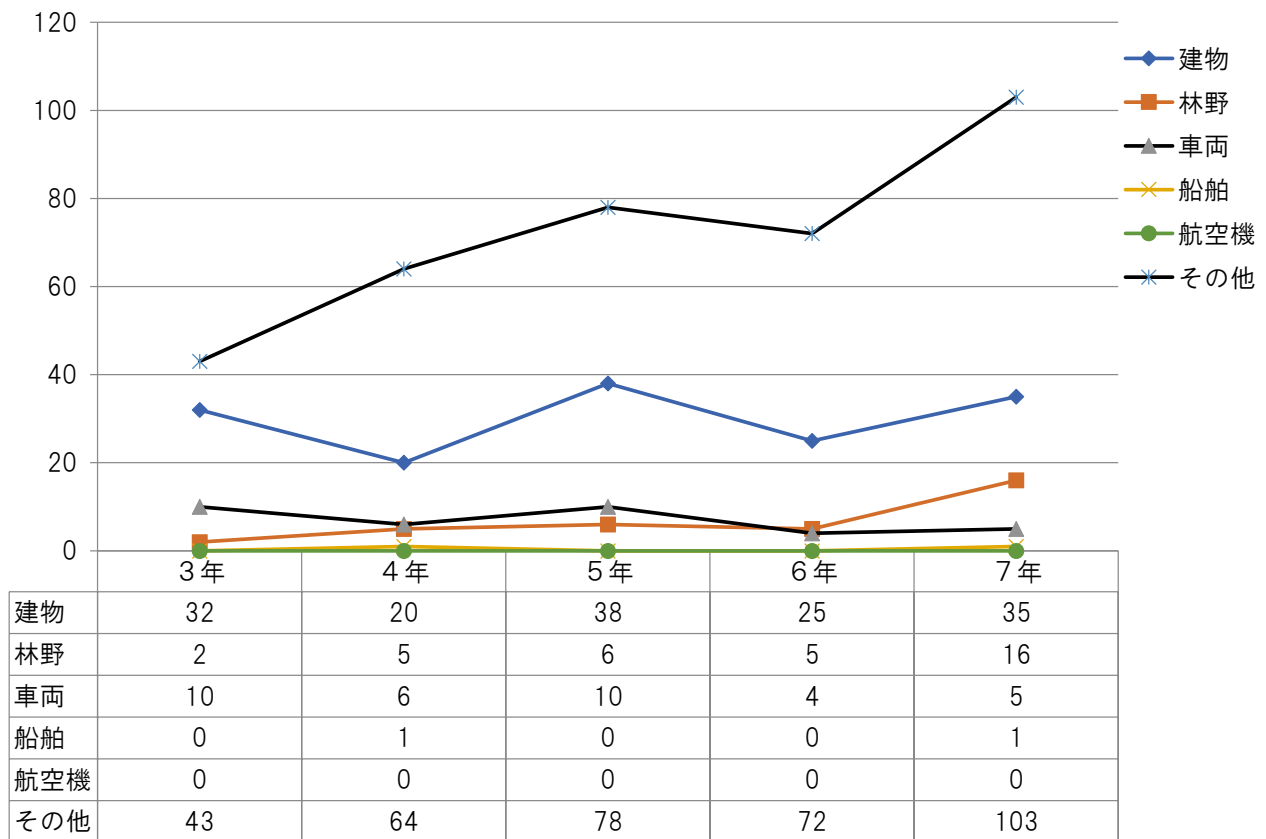
(令和7年)

区分 月別	出火件数							損害額 (単位：千円)	焼損棟数				り災世帯			焼損面積		死者			負傷者		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損	建物 m ²	林野 a	消防吏員	消防団員	その他の者	消防吏員	消防団員	その他の者
1月	28	3	3	1			21	1,076	2		2			2	71	2							5
2月	44	7	8		1		28	7,228	3		3	4	1	5	453	44							5
3月	14	1		1			12	61			1			1	4								3
4月	7	2	1				4	8,412	1	2	2	1		1	3	190	1						1
5月	6	5					1	5,102		1	1	3		1	226								
6月	5	2					3	6,139		1	1			1	1	50							1
7月	6	1	1				4	16				1			1	8							
8月	15	1		2			12	431			1			1	18								1
9月	9	1	1				7	127				1											
10月	12	9					3	27,416	3		2	4	3	1	435								
11月	8	3					5	3,687	1			2		1	5							1	2
12月	6		2	1			3	31								24						1	1
合計	160	35	16	5	1		103	59,726	10	4	13	16	4	3	15	1,453	79					2	19

4 月別火災発生件数



5 火災種別件数の推移 (過去5年間)



6 過去5年間の火災発生状況

年 区分 市町	令和3年						令和4年						令和5年						令和6年						令和7年						7年 出 火 率	5年間の計						年 平 均 件 数				
	火災件数					損 害 額 (千円)	火災件数					損 害 額 (千円)	火災件数					損 害 額 (千円)	火災件数					損 害 額 (千円)	火災件数																	
	計	建 物	林 野 間	車 両	船 舶 他		計	建 物	林 野 間	車 両	船 舶 他		計	建 物	林 野 間	車 両	船 舶 他		計	建 物	林 野 間	車 両	船 舶 他		計	建 物	林 野 間	車 両	船 舶 他	計		建 物	林 野 間	車 両	船 舶 他							
館山市	26	9		1	16	27,745	25	8	1	1	1	14	6,897	50	18	1	3		28	38,275	33	6	1	1		25	9,298	39	11	3	3	1	21	31,693	9.2	173	52	6	9	2	104	34.6
鴨川市	21	8		4	9	9,927	31	5		2		24	41,042	32	8	1	3		20	22,214	35	9	1	2		23	27,820	53	12	7	1		33	14,208	17.8	172	42	9	12		109	34.4
南房総市	36	14	2	3	17	85,270	34	6	3	3		22	44,182	46	12	4	1		29	27,699	35	8	3		24	19,955	56	8	6	1		41	8,710	17.2	207	48	18	8		133	41.4	
鋸南町	4	1		2	1	451	6	1	1			4	1,004	4			3		1	4,312	3	2		1			2,893	12	4				8	5,115	19.4	29	8	1	6		14	5.8
合計	87	32	2	10	43	123,393	96	20	5	6	1	64	93,125	132	38	6	10		78	92,500	106	25	5	4		72	59,966	160	35	16	5	1	103	59,726	14.4	581	150	34	35	2	360	116.2

※出火率とは、人口1万人当たりの出火件数です。
 ※過去5年間に於ける航空機火災の発生はありません。

(5) 出火原因別件数

令和7年 火災件数
160 件

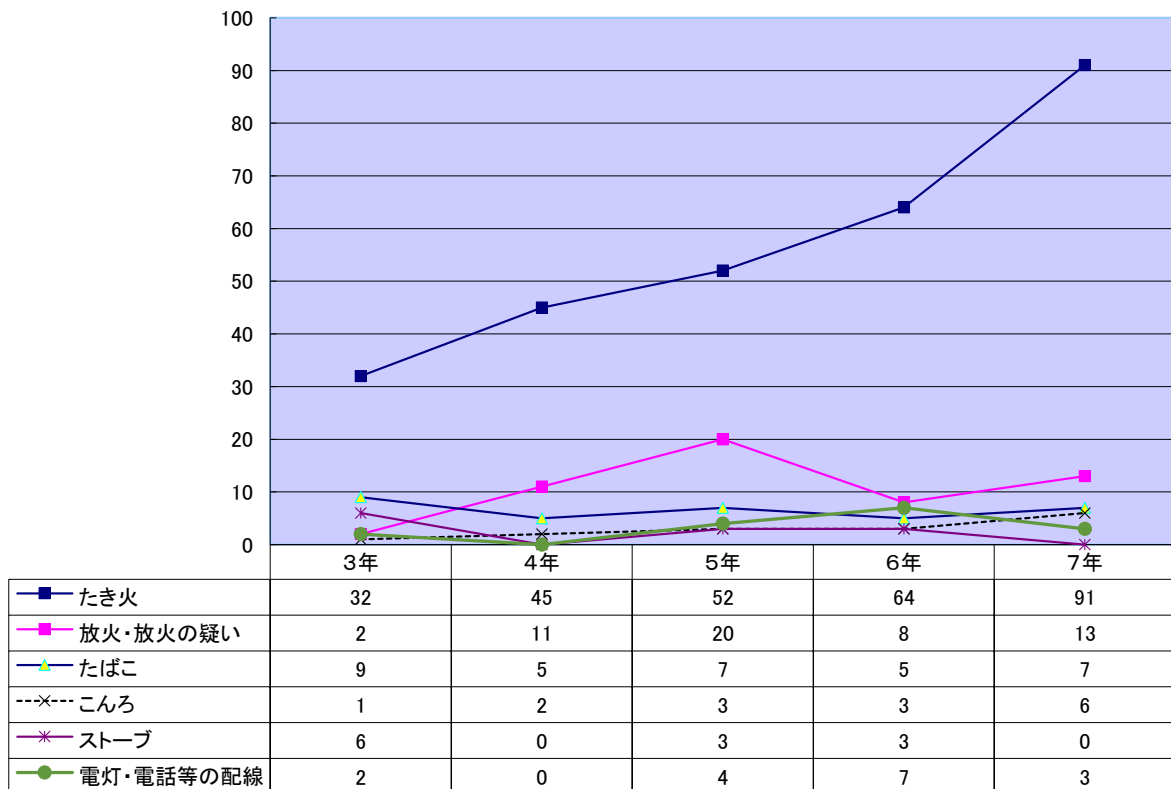
出火原因種別	件数	割合 (%)
たき火	91	56.9
放火・放火の疑い	13	8.1
火入れ	9	5.6
たばこ	7	4.4
こんろ	6	3.8
電灯・電話の配線	3	1.9
配線器具	3	1.9
焼却炉	2	1.3
排気管	2	1.3
風呂かまど	1	0.6
煙突・煙道	1	0.6
内燃機関	1	0.6
不明・調査中	5	3.1
その他	16	10.0

(6) 建物火災の出火原因別件数

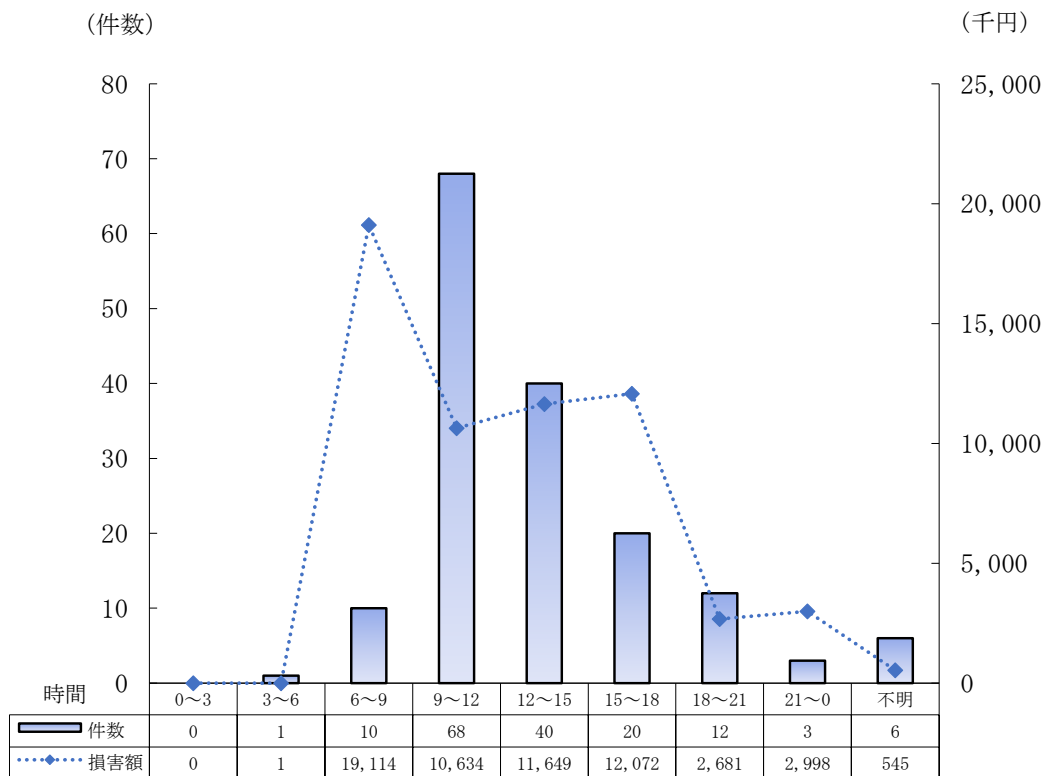
令和7年 建物火災件数
35 件

出火原因種別	件数	割合 (%)
こんろ	6	17.1
たき火	4	11.4
放火・放火の疑い	4	11.4
配線器具	3	8.6
たばこ	2	5.7
電灯・電話の配線	2	5.7
風呂かまど	1	2.9
煙突・煙道	1	2.9
排気管	1	2.9
火入れ	1	2.9
不明・調査中	4	11.4
その他	6	17.1

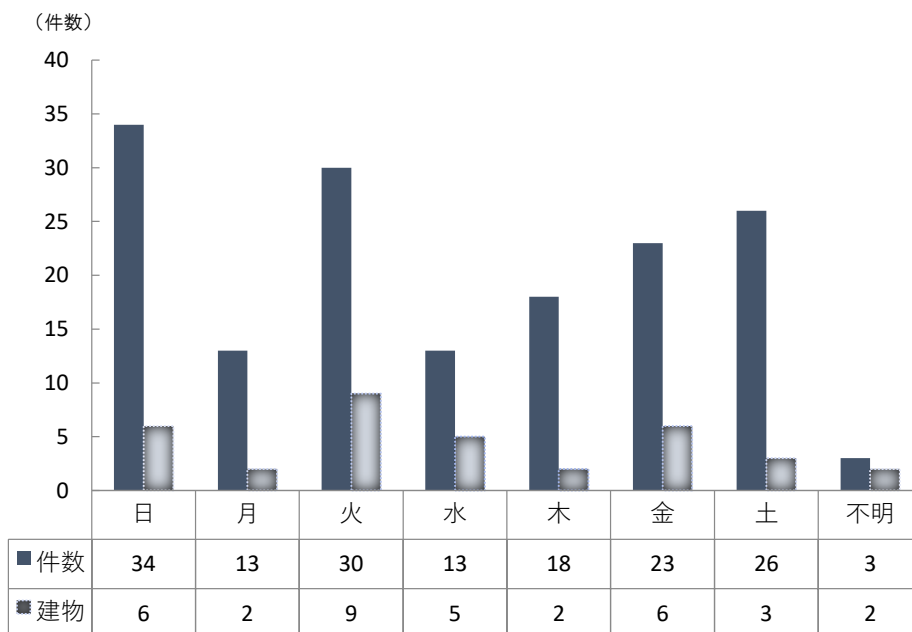
(7) 主な出火原因の推移 (過去5年間)



10 時間別火災発生件数・損害額

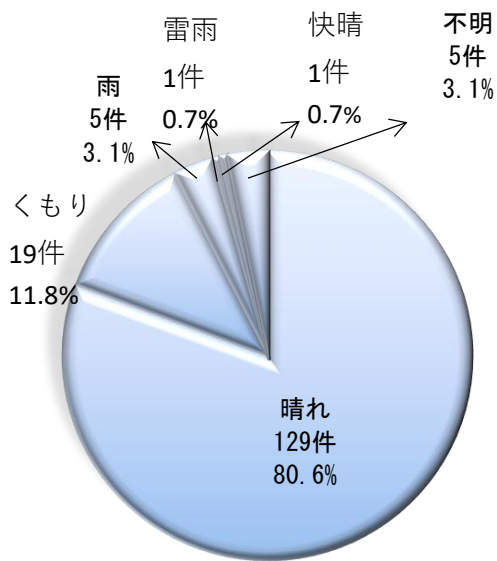


11 曜日別火災発生件数

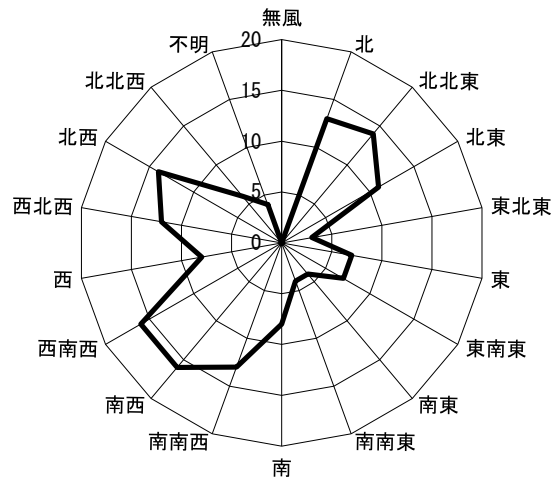


12 気象別火災発生件数

(天候別)

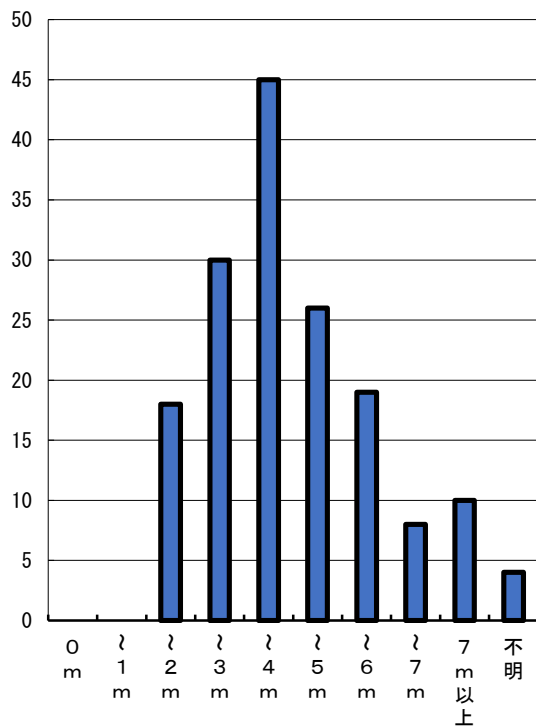


(風向別)



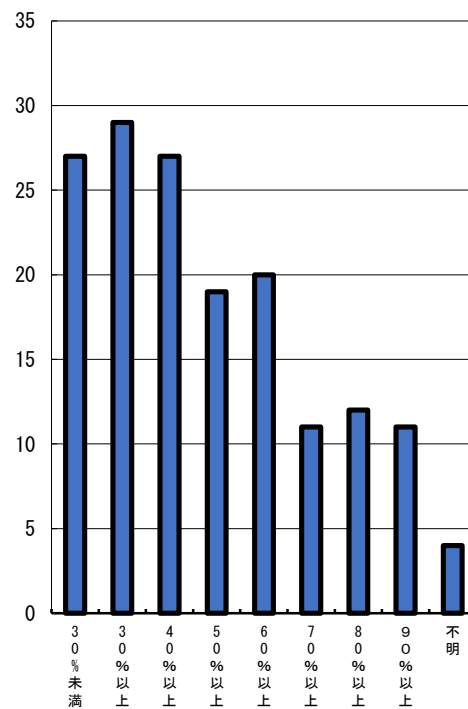
(風速別)

(件)

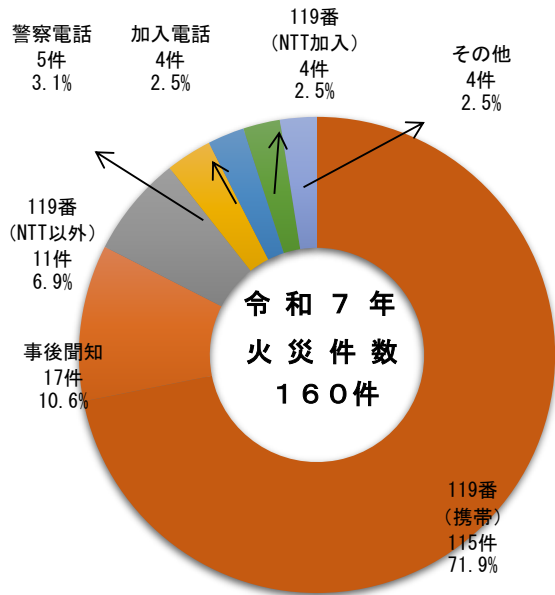


(湿度別)

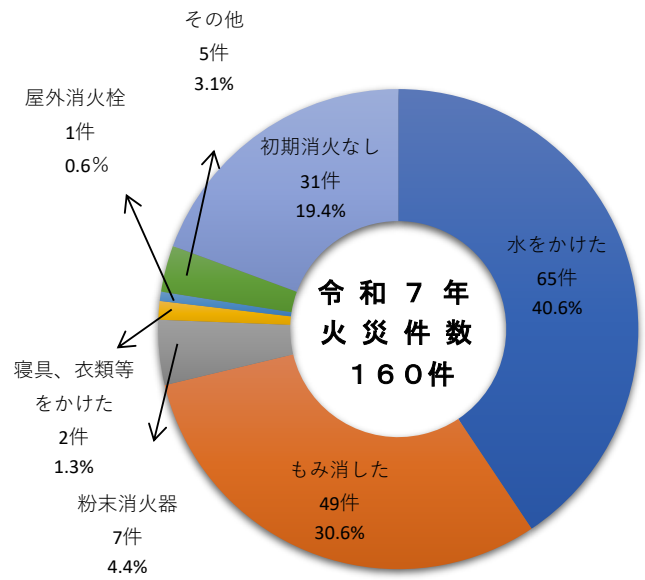
(件)



13 覚知方法別火災発生件数



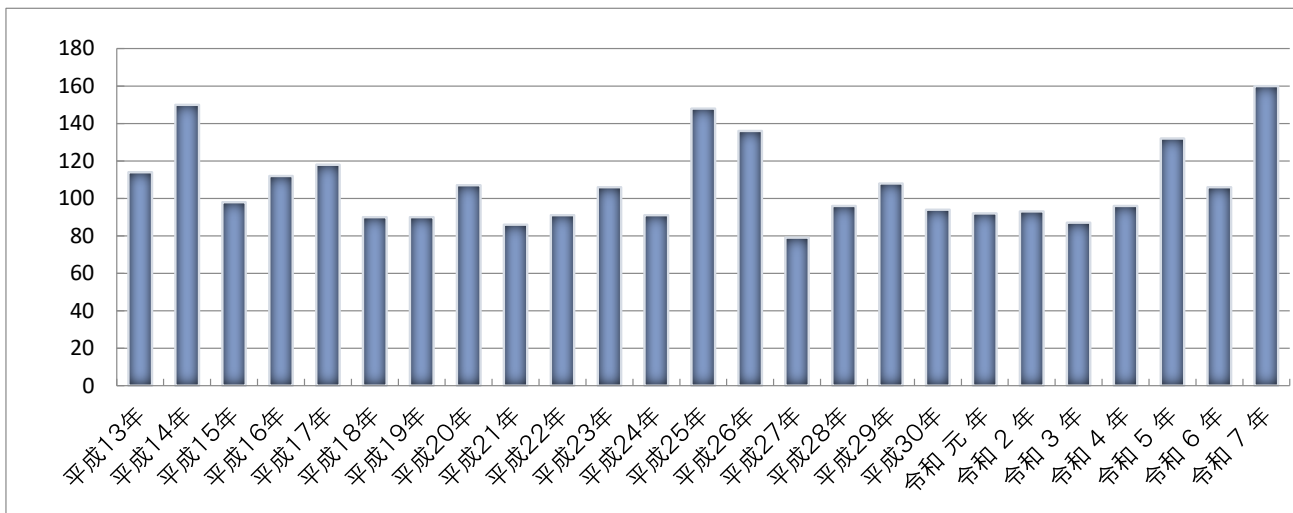
14 初期消火器具使用状況



15 主な火災

区分 火災種別	出火年月日	場 所	焼損面積(m ²) 損 害 額 (千円)	摘 要
建 物	R7. 10. 29	館山市犬石172	185 11,464	1棟全焼

16 火災発生状況の推移 (過去25年間)



年	火災件数	出火率	人口(万人)	焼損棟数	焼損面積(m ²)		損害額(千円)	死者	負傷者
					床面積	表面積			
平成13年	114	7.8	14.57	73	4,336	82	246,154	3	14
平成14年	150	10.4	14.46	89	3,293	132	215,038	5	13
平成15年	98	6.7	14.67	79	3,469	154	217,305	9	16
平成16年	112	7.7	14.59	53	2,302	48	182,300	5	12
平成17年	118	8.4	14.13	69	3,211	51	186,996	7	19
平成18年	90	6.3	14.30	56	2,319	67	131,025	4	12
平成19年	90	6.5	13.88	64	2,768	69	102,072	9	11
平成20年	107	7.8	13.74	70	4,078	119	171,099	3	14
平成21年	86	6.3	13.63	41	1,540	38	88,197	4	9
平成22年	91	6.6	13.55	56	2,487	131	169,961	4	6
平成23年	106	7.9	13.46	43	1,747	59	84,667	2	16
平成24年	91	6.6	13.71	52	1,749	134	168,002	4	20
平成25年	148	10.9	13.59	53	2,148	189	80,669	6	23
平成26年	136	10.1	13.49	80	3,622	237	166,392	5	18
平成27年	79	5.9	13.32	59	3,054	144	141,342	5	15
平成28年	96	7.2	13.32	56	2,606	100	114,024	6	15
平成29年	108	8.3	12.99	47	1,338	110	65,849	3	17
平成30年	94	7.6	12.37	30	1,136	57	54,663	5	14
令和元年	92	7.6	12.18	56	2,727	59	65,256	1	13
令和2年	93	7.8	11.99	29	835	14	61,894	5	17
令和3年	87	7.4	11.81	54	2,540	145	123,393	1	21
令和4年	96	8.2	11.67	33	1,757	17	93,125	5	15
令和5年	132	11.5	11.50	48	2,118	100	92,500	1	26
令和6年	106	9.4	11.28	36	1,325	59	59,966	2	13
令和7年	160	14.4	11.09	43	1,353	100	59,726	0	21

令和7年救急概要

1 救急出動件数及び搬送人員数

令和7年中の当消防本部管内の救急出動件数は**9,003件**（前年 8,469件）で前年より534件多く、安房郡市内で1日平均24.60件（前年23.14件）の割合で救急隊が出動したことになります。

また搬送人員は、**7,626人**（前年7,151人）で、安房郡市内の人口約14.71人に1人の割合で運ばれたことになります。 ※安房郡市内の人口 112,188人 R8.1.1現在

2 救急事故種別における出動件数

急病が最も多く、**5,407件（60.06%）**（前年 急病5,222件：61.66%）、次いで転院搬送の1,385件（15.38%）（前年 転院搬送1225件：14.46%）、一般負傷1,265件（14.05%）（前年一般負傷1,176件：13.9%）、交通484件（5.38%）（前年 交通434件：5.12%）の順となっています。

3 救急事故種別における搬送人員数

急病が最も多く**4,546人（59.6%）**（前年 急病4,344人：60.7%）、次いで転院搬送の1,370人（18.0%）（前年 転院搬送1,218人：17.0%）、一般負傷1,081人（14.2%）（前年 一般負傷1,022人：14.3%）、交通458人（6.0%）（前年 交通402人：5.6%）の順となっています。

4 市町別出動件数

館山市が最も多く**4,146件**（前年 館山市3,657件）、次いで南房総市2,378件（前年 南房総市2,365件）、鴨川市1,932件（前年 鴨川市1,902件）、鋸南町527件（前年 鋸南町532件）の順となっています。 ※他の地区20件（前年 他の地区13件）

5 月別出動件数

1月が**978件**（前年 12月867件）と最も多く、次いで8月の857件（前年 8月835件）以下2月の831件（前年 7月804件）の順となり、最も少ない月は、4月の612件（前年6月604件）となっています。

6 年代別搬送人員数

80～89歳が最も多く**2,281人（29.9%）**、次いで70～79歳 1,779人（23.3%）、90～99歳 1,177人（15.4%）の順となり、60歳以上は6,008人（78.8%）となっています。

7 時間帯別出動件数

1日のうち**10～12時**の間の出動 **1,228件**（前年 10～12時1,138件）が最も多く、次いで12～14時 1,104件（前年 12～14時1,087件）、14～16時 1,053件（前年 08～10時985件）の順となり、最も少ない時間帯は、02～04時305件（前年 02～04時249件）となっています。

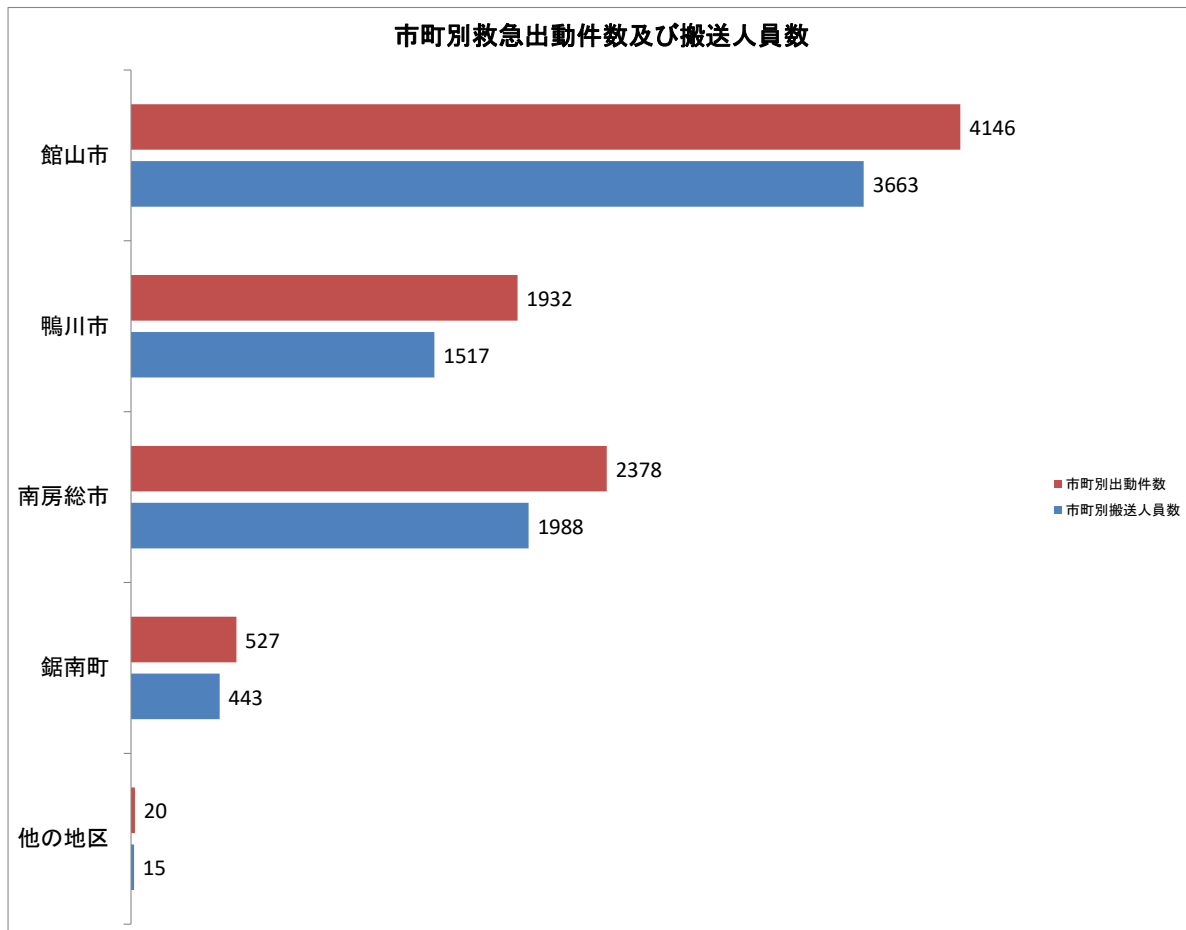
8 曜日別出動件数

月曜日の**1,320件**（前年 月曜日1,289件）が最も多く、次いで火曜日の1,304件（前年 火曜日1,246件）、日曜日の1,301件（前年 日曜日1,236件）の順となり、最も少なかった曜日は、金曜日の1,232件（前年 金曜日1,159件）となっています。

市町別救急出動件数及び搬送人員数

令和7年

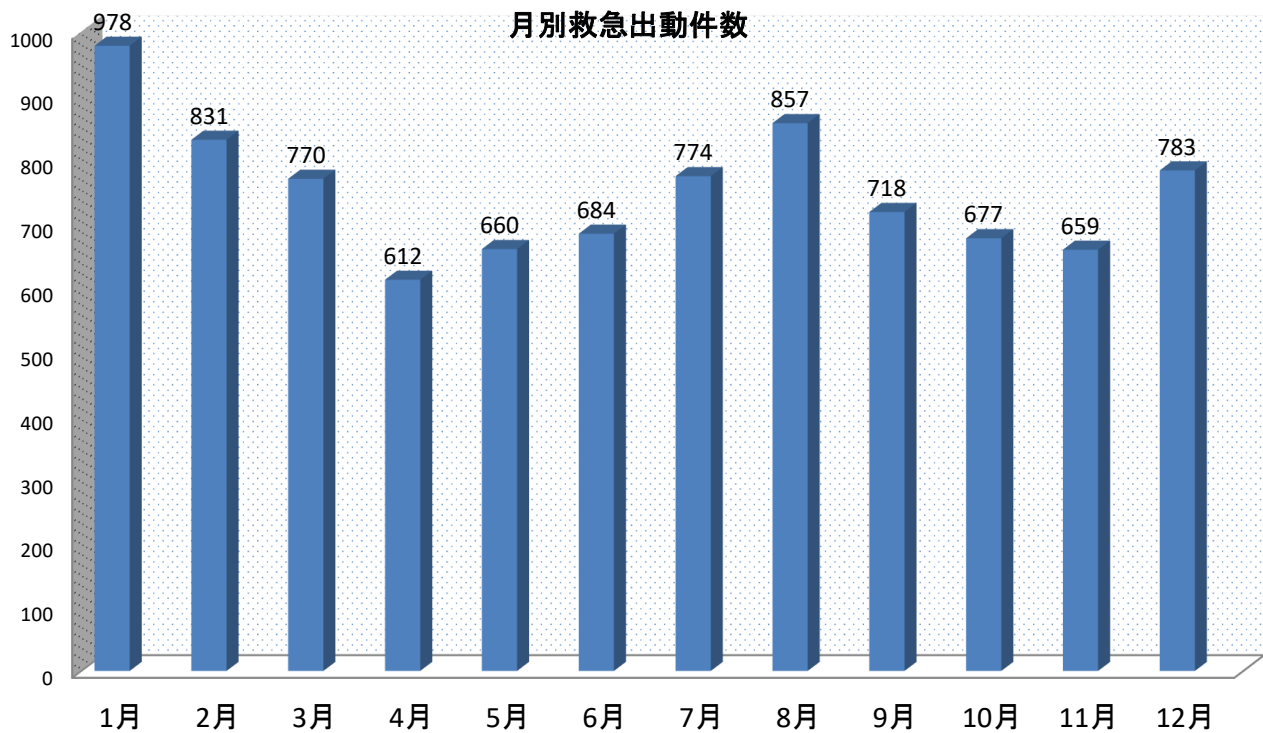
事故種別 市町別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	そ	合
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	の	計
		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	搬	他	計
館山市	出場件数	35	0	12	196	16	10	492	16	14	2,254	1,059	42	4,146
	搬送人員	1	0	8	185	14	7	440	15	13	1,931	1,049	0	3,663
鴨川市	出場件数	49	0	9	128	19	15	296	9	16	1,172	188	31	1,932
	搬送人員	4	0	1	115	20	12	231	5	7	936	186	0	1,517
南房総市	出場件数	52	0	11	129	18	10	395	3	18	1,634	88	20	2,378
	搬送人員	3	0	4	127	18	10	344	1	10	1,385	86	0	1,988
鋸南町	出場件数	11	0	2	27	7	3	79	0	5	338	49	6	527
	搬送人員	0	0	2	27	6	3	64	0	4	288	49	0	443
他の地区	出場件数	1	0	0	4	1	0	3	0	1	9	1	0	20
	搬送人員	0	0	0	4	1	0	2	0	2	6	0	0	15
合計	出場件数	148	0	34	484	61	38	1,265	28	54	5,407	1,385	99	9,003
	搬送人員	8	0	15	458	59	32	1,081	21	36	4,546	1,370	0	7,626



月別救急出動件数

令和7年

事故種別 月別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				計
											転院 搬送	医師 搬送	資機材 輸送	その他	
1月	27	0	3	40	5	3	125	2	7	609	150	0	0	7	978
2月	39	0	0	36	7	6	115	1	2	486	125	0	0	14	831
3月	15	0	3	40	2	2	93	1	4	494	103	0	0	13	770
4月	7	0	2	37	3	3	92	3	3	380	77	0	0	5	612
5月	4	0	3	44	4	4	96	3	3	401	95	0	0	3	660
6月	5	0	2	37	8	3	97	5	3	407	111	0	0	6	684
7月	5	0	8	38	6	4	124	3	5	459	114	0	0	8	774
8月	16	0	7	52	7	3	104	2	2	511	143	0	0	10	857
9月	9	0	3	33	7	1	100	2	9	424	119	0	0	11	718
10月	8	0	0	37	8	2	103	0	4	387	119	0	0	9	677
11月	8	0	3	41	0	3	105	2	6	379	106	0	0	6	659
12月	5	0	0	49	4	4	111	4	6	470	123	0	0	7	783
計	148	0	34	484	61	38	1,265	28	54	5,407	1,385	0	0	99	9,003

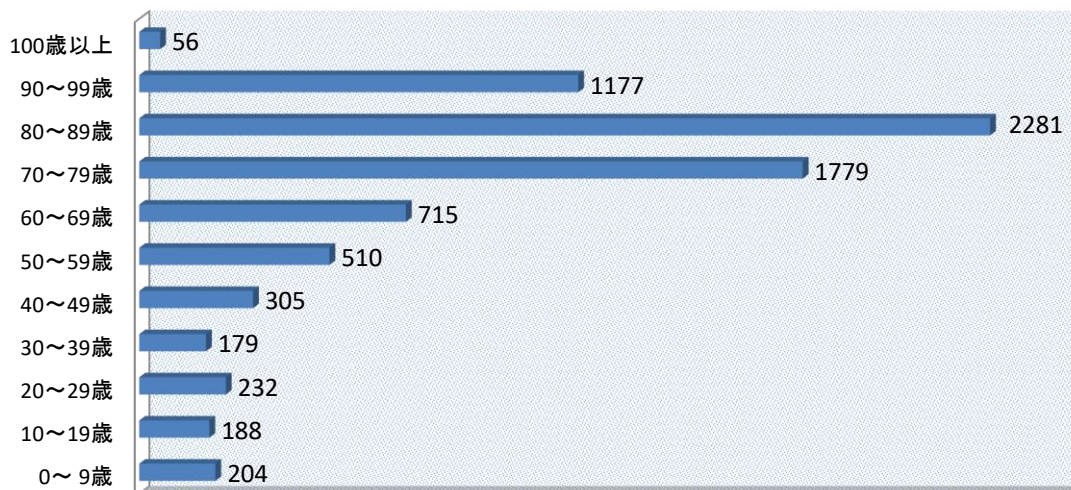


年代別事故種別搬送人員数

令和7年

事故種別等		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	男女別計	合計
年代別														
0～9	男	0	0	0	8	0	0	19	0	0	75	22	124	204
	女	0	0	0	2	0	1	12	0	0	48	17	80	
10～19	男	0	0	1	18	0	20	13	1	3	41	8	105	188
	女	0	0	0	18	1	4	6	0	3	48	3	83	
20～29	男	0	0	1	24	6	1	19	5	4	53	18	131	232
	女	0	0	0	27	0	0	8	0	7	51	8	101	
30～39	男	0	0	1	17	2	0	8	0	2	52	7	89	179
	女	0	0	0	13	0	0	8	0	2	54	13	90	
40～49	男	0	0	1	30	2	4	19	3	2	86	27	174	305
	女	0	0	1	22	0	1	10	2	3	70	22	131	
50～59	男	1	0	3	46	21	1	33	5	4	142	67	323	510
	女	0	0	0	25	0	0	23	2	0	107	30	187	
60～69	男	0	0	2	35	10	0	50	0	1	298	105	501	715
	女	0	0	1	25	2	0	44	0	0	111	31	214	
70～79	男	3	0	0	47	12	0	131	1	1	672	228	1,095	1,779
	女	1	0	0	44	2	0	116	1	1	394	125	684	
80～89	男	2	0	2	21	1	0	139	0	2	749	250	1,166	2,281
	女	1	0	2	23	0	0	194	1	0	693	201	1,115	
90～99	男	0	0	0	8	0	0	66	0	1	269	74	418	1,177
	女	0	0	0	5	0	0	154	0	0	490	110	759	
100歳以上	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	2	10	56
	女	0	0	0	0	0	0	8	0	0	36	2	46	
男女別計	男	6	0	11	254	54	26	498	15	20	2,444	808	4,136	7,626
	女	2	0	4	204	5	6	583	6	16	2,102	562	3,490	
合計		8	0	15	458	59	32	1,081	21	36	4,546	1,370	7,626	

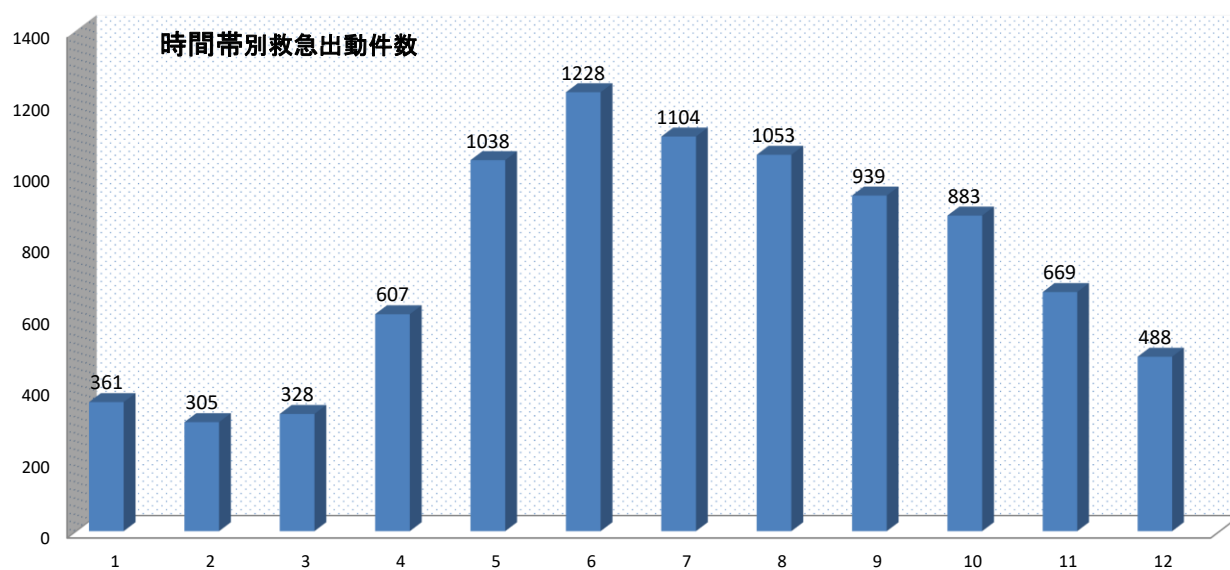
年代別搬送人員数



時間帯別救急出動件数

令和7年

事故種別 時間帯別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材輸送	その他	
00~02	1	0	0	7	0	0	40	8	2	254	46	0	0	3	361
02~04	0	0	1	3	1	1	30	3	3	230	26	0	0	7	305
04~06	0	0	1	10	0	0	39	1	0	252	20	0	0	5	328
06~08	2	0	4	28	0	0	113	2	5	432	19	0	0	2	607
08~10	15	0	3	64	10	2	163	3	7	686	74	0	0	11	1,038
10~12	54	0	8	75	17	13	180	0	4	662	201	0	0	14	1,228
12~14	28	0	7	59	14	9	151	2	2	578	243	0	0	11	1,104
14~16	25	0	2	104	5	7	136	1	10	539	210	0	0	14	1,053
16~18	8	0	6	60	7	4	150	1	5	480	209	0	0	9	939
18~20	8	0	2	45	4	2	107	0	9	544	152	0	0	10	883
20~22	7	0	0	15	1	0	88	5	6	432	110	0	0	5	669
22~24	0	0	0	14	2	0	68	2	1	318	75	0	0	8	488
計	148	0	34	484	61	38	1,265	28	54	5,407	1,385	0	0	99	9,003

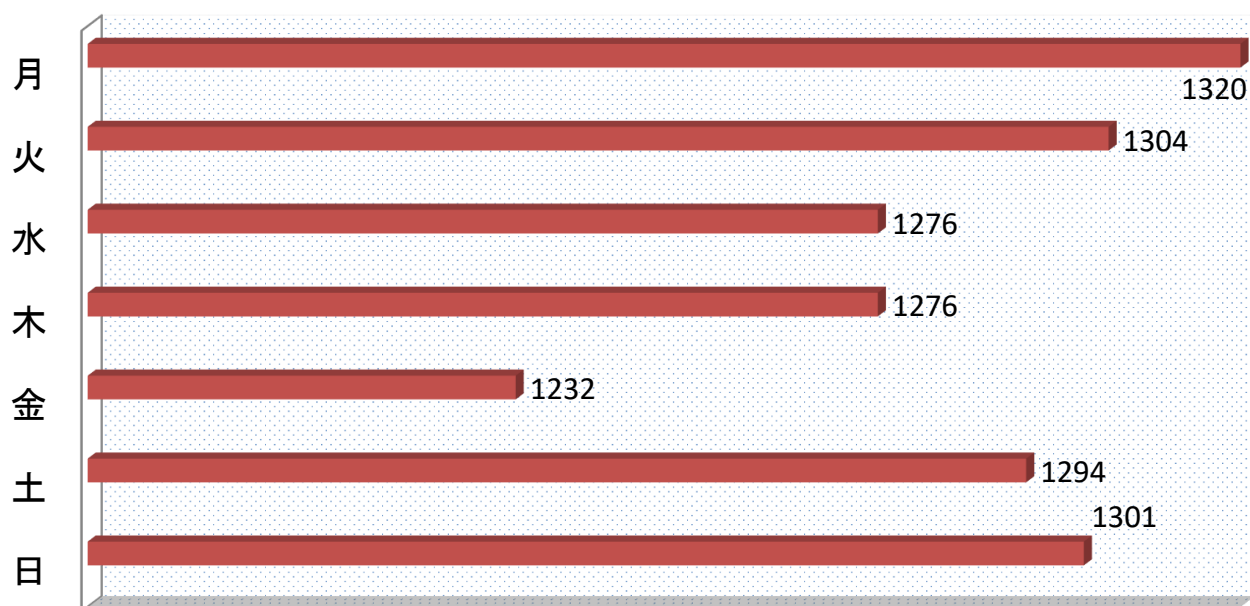


曜日別救急出動件数

令和7年

事故種別 曜日別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
月	13	0	7	57	8	3	195	2	8	798	221	8	1,320
火	24	0	2	62	10	5	189	5	10	780	209	8	1,304
水	12	0	3	59	7	1	175	3	4	792	203	17	1,276
木	17	0	7	81	16	4	172	0	13	752	197	17	1,276
金	23	0	5	62	7	3	153	4	3	746	208	18	1,232
土	27	0	6	99	7	9	181	4	7	740	198	16	1,294
日	32	0	4	64	6	13	200	10	9	799	149	15	1,301
合計	148	0	34	484	61	38	1,265	28	54	5,407	1,385	99	9,003

曜日別出動件数



過去10年間の救急出動件数

令和7年

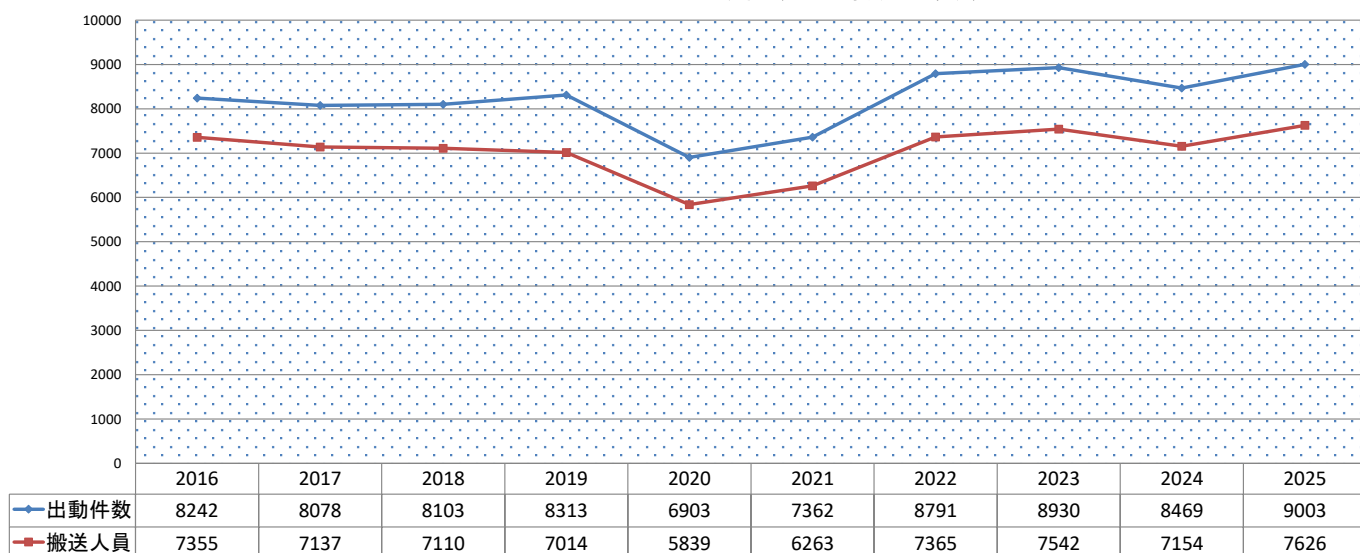
区分 年度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	出動件数
H28	94	10	40	618	52	45	1,069	29	87	4,927	1,180	91	8,242
H29	110	4	32	665	67	44	1,125	24	62	4,681	1,169	95	8,078
H30	87	1	62	638	53	34	1,102	17	57	4,848	1,142	62	8,103
H31	87	19	52	506	65	30	1,178	20	74	5,013	1,107	162	8,313
R2	88	0	34	447	74	14	1,028	29	92	4,162	848	87	6,903
R3	86	0	46	412	75	14	1,037	21	81	4,330	1,172	88	7,362
R4	107	0	26	425	49	28	1,203	27	89	5,286	1,454	97	8,791
R5	124	2	39	473	56	28	1,171	17	68	5,468	1,397	87	8,930
R6	105	0	21	434	62	38	1,176	24	54	5,222	1,225	108	8,469
R7	148	0	34	484	61	38	1,265	28	54	5,407	1,385	99	9,003

過去10年間の搬送人員数

令和7年

区分 年度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	搬送人員数
H28	17	5	31	635	48	40	991	20	47	4,361	1,157	3	7,355
H29	14	2	15	682	63	44	1,018	17	30	4,103	1,145	4	7,137
H30	14	0	32	657	49	32	978	13	39	4,183	1,112	1	7,110
H31	10	6	17	495	60	26	1,031	15	45	4,216	1,093	0	7,014
R2	18	0	10	443	70	13	889	23	54	3,485	833	1	5,839
R3	15	0	20	396	68	10	886	13	48	3,647	1,160	0	6,263
R4	14	0	11	391	42	23	1,051	20	56	4,314	1,441	2	7,365
R5	21	0	18	455	51	22	1,009	11	40	4,526	1,387	2	7,542
R6	14	0	9	402	59	34	1,022	20	32	4,344	1,218	0	7,154
R7	8	0	15	458	59	32	1,081	21	36	4,546	1,370	0	7,626

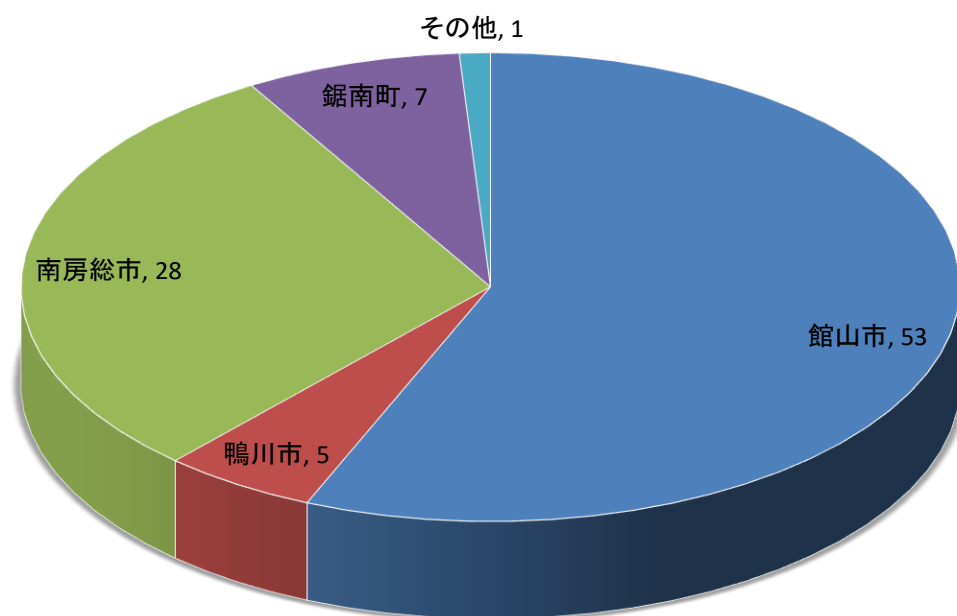
過去10年間の救急出動件数及び搬送人員数



市町別事故種別ドクターヘリ要請件数及び搬送人員数 令和7年

事故種別 市町別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計
		館山市	要請件数	0	0	2	5	1	0	6	0	0	37	2
	搬送人員	0	0	2	4	1	0	3	0	0	32	2	0	44
鴨川市	要請件数	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	5
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
南房総市	要請件数	0	0	1	3	3	0	4	0	0	17	0	0	28
	搬送人員	0	0	0	2	1	0	2	0	0	10	0	0	15
鋸南町	要請件数	0	0	1	2	0	0	2	0	0	2	0	0	7
	搬送人員	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	6
その他	要請件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	要請件数	0	0	4	12	5	0	14	0	0	57	2	0	94
	搬送人員	0	0	2	10	2	0	7	0	0	44	2	0	67

ドクターヘリ要請件数



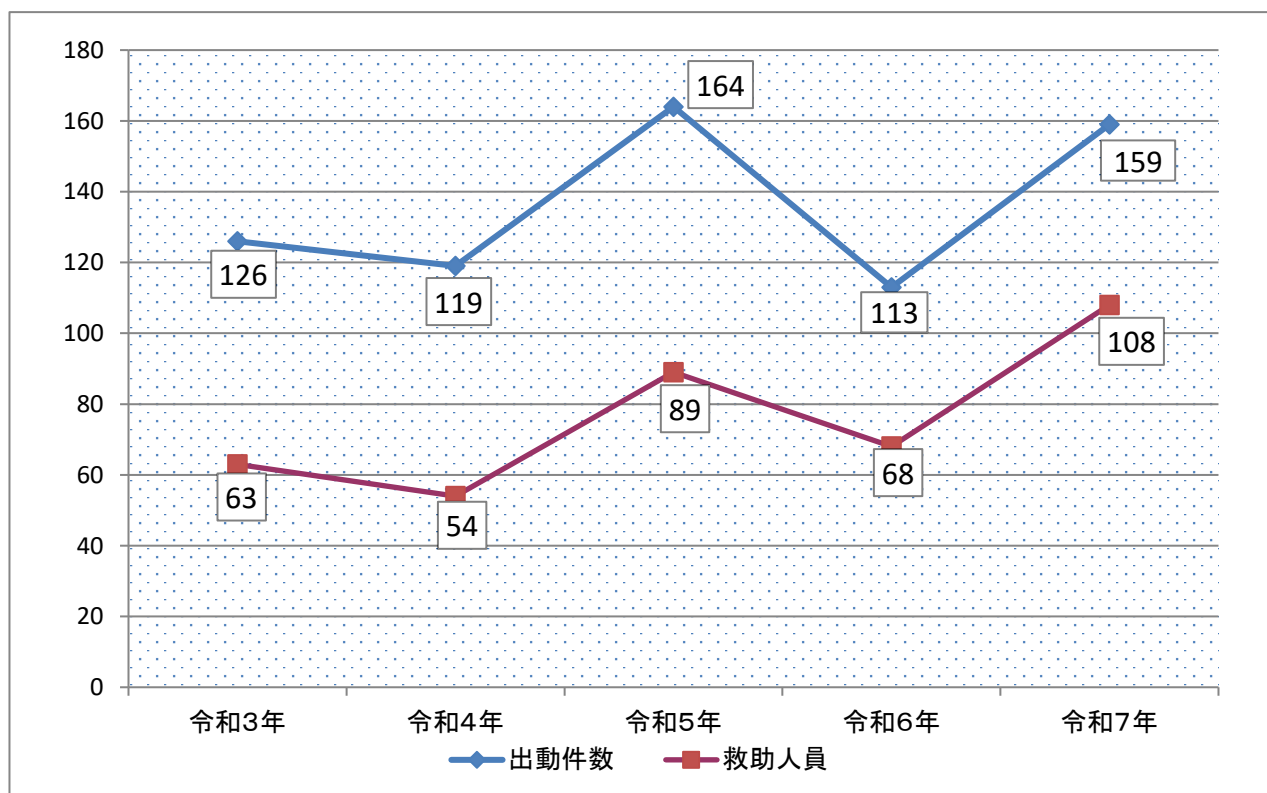
市町別救助活動状況

(令和7年)

事故種別 市町別		火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	然	械	物	ス	裂	の	
		欠	他	計							
館山市	出動件数	1	20	4	0	1	29	0	0	11	66
	活動件数	1	11	1	0	1	21	0	0	3	38
	救助人員	1	14	1	0	1	21	0	0	3	41
鴨川市	出動件数	0	11	4	0	3	16	0	0	13	47
	活動件数	0	9	3	0	3	9	0	0	7	31
	救助人員	0	9	3	0	4	9	0	0	9	34
南房総市	出動件数	0	9	8	0	0	7	0	0	12	36
	活動件数	0	4	4	0	0	6	0	0	8	22
	救助人員	0	4	4	0	0	6	0	0	10	24
鋸南町	出動件数	0	2	0	0	0	2	0	0	5	9
	活動件数	0	2	0	0	0	2	0	0	4	8
	救助人員	0	2	0	0	0	2	0	0	4	8
管 外	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	活動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	出動件数	1	42	16	0	4	54	0	0	42	159
	活動件数	1	26	8	0	4	38	0	0	23	100
	救助人員	1	29	8	0	5	38	0	0	27	108

過去5年間の救助活動状況

年	事故種別	火	交	水	自然	機	建	ガス	破	そ	合計
		災	通	難	災害	械	物	・酸欠	裂	の他	
令和3年	出動件数	0	24	28	0	3	34	0	0	37	126
	活動件数	0	7	15	0	1	17	0	0	16	56
	救助人員	0	11	18	0	3	15	0	0	16	63
令和4年	出動件数	3	26	17	0	1	40	0	0	32	119
	活動件数	2	9	12	0	0	18	0	0	11	52
	救助人員	2	14	11	0	0	15	0	0	12	54
令和5年	出動件数	0	40	27	4	4	53	2	0	34	164
	活動件数	0	15	9	1	4	24	1	0	18	72
	救助人員	0	16	7	12	10	22	1	0	21	89
令和6年	出動件数	1	29	15	0	1	30	1	0	36	113
	活動件数	1	13	9	0	0	21	1	0	20	65
	救助人員	1	15	9	0	0	22	1	0	20	68
令和7年	出動件数	1	42	16	0	4	54	0	0	42	159
	活動件数	1	26	8	0	4	38	0	0	23	100
	救助人員	1	29	8	0	5	38	0	0	27	108



早い通報・少ない損害



火災になったら まず、何をしたらいいのだろう

1 通報

まず、他人に知らせること。消防機関に通報することはもちろん、近所の人たちの協力を求めることが大切。

2 初期消火

通報したら次は消火。ただし初期消火ができるのは火が天井に移るまで。

3 避難

消火していても、天井に火が移ったら消火は困難です。すぐに近所の人に知らせて避難しましょう。煙や火はいっきに拡がります。いったん避難したら再び火の中には戻らない。

火災の場合の正しい通報要領

「火事です。〇〇町××番地の（氏名）です。（住宅）が燃えています。目標は（△△）の東側です。」

※ 逃げ遅れた人の有無は通報時に知らせて下さい。

住宅防火 命を守る10のポイント

★ 4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

★ 6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、個別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

火事から避難するときはどうする？

火災で怖いのは火とけむりです。火災のぎせい者の多くは、けむりを吸ったり、けむりにまかれて逃げ道を失ったりして命を落としています。避難するときにはけむりにも注意して、次のことを守りましょう。

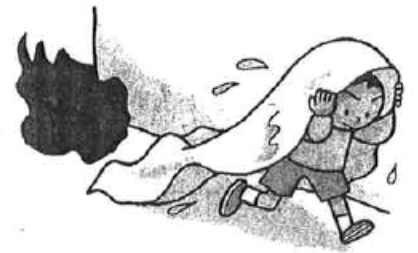
早く逃げよう

服装や持ち物にこだわらず、早く逃げましょう。



いっきに走りぬけよう

炎の中はいっきに走りぬけましょう。迷ってはいけません。できたら頭から水をかぶるか、ぬれたシーツをかぶってからのほうが安全です。



けむりの中は姿勢を低くしよう

けむりの中は姿勢を低くして逃げましょう。そのとき、水でぬらしたハンカチやタオルを口と鼻に当てて、けむりを吸わないようにしましょう。



一度避難したらもどらない

一度外に出たら、ぜったいに中にもどってはいけません。逃げおくれた人がいるなら、近くの消防隊の人にすぐ知らせてください。



こわい こわい けむりの話

火災では炎よりもけむりの方がずっと危険です。有どくなガスをたくさんふくみ、1回吸いこんだだけで気を失ったり、体がまひしたりして、死んでしまうこともあります。

また、広がるスピードも炎よりもはるかに速く、あっという間にあたりはけむりだらけになってしまい、何も見えなくなってしまうます。

けむりは上から下へ

- 床すれすれには空気が残っていることも。ほうように移動しよう。
- 階段の段と段のくぼみに空気がたまりやすい。

